

Ⅱ 大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜 (地域教員希望枠)

1 募集人員

キャンパス	課程	専攻	コース	募集人員 (注1)(注2)
柏原	学校教育 教員養成課程	教科教育専攻	国語教育コース	10人
			英語教育コース	
			社会科教育コース	
			数学教育コース	
			理科教育コース	
			技術教育コース	
			家政教育コース	
			保健体育コース	
			音楽教育コース	
			美術・書道教育コース【美術分野】	
教 育 学 部 合 計				10人

(注1) 合格者の目安は、学校教育教員養成課程教科教育専攻の各コース1人程度です。どのコースに出願するか、出願時に選択いただきます。

(注2) 合格者数(入学手続者数)が募集人員に満たなかった場合は、原則「共通テストを課す推薦」又は「共通テストを課さない推薦」の合格者で補充します。「共通テストを課す推薦」及び「共通テストを課さない推薦」を実施していないコースにおいては、「一般選抜(前期日程)」又は「一般選抜(後期日程)」の合格者で補充します。

2 出願資格及び要件

	課程・専攻・コース	出願資格及び要件
大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜(地域教員希望枠)	学校教育教員養成課程 教科教育専攻	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 ただし、推薦人数は1校2名以内とする。
	国語教育コース 英語教育コース 社会科教育コース 数学教育コース 理科教育コース 技術教育コース 家政教育コース 保健体育コース 音楽教育コース 美術・書道教育コース【美術分野】	(1) 高等学校(中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。)を令和9年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和8年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 学部4年間で中学校・高等学校教諭免許状を取得し、学部卒業後に本学1年課程の特別支援教育特別専攻科に進学のうえ、特別支援学校教諭免許状を取得し、将来、大阪府内の支援学校(特に中学部・高等部)での学校教育に携わることを強く希望する者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上で、学校長の推薦を受けた者 (4) 将来、大阪府内の支援学校教員として活躍を期待できる十分な資質、適性を有すると学校長が判断する者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

3 出願期間・出願方法等

(1) 出願期間

令和8年11月1日（日）から令和8年11月6日（金）まで（**11月6日必着**）

(2) 出願方法

インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の出願書類を郵送する「インターネット出願」を導入しています。出願完了には次のA、B、Cの順番で全ての手続が必要です。なお、各手続には受付期間が定められており、いずれか一つでも出願受付期間中に手続が完了できない場合は出願を受理できませんので、十分ご注意ください。

A	インターネットによる出願登録	令和8年10月26日（月）9時～令和8年11月6日（金）12時（日本時間）
B	入学検定料等（支払い手数料含む。）の支払い	令和8年10月26日（月）9時～令和8年11月6日（金）12時（日本時間）
C	出願に必要な書類等の郵送での提出（持参不可）	令和8年11月1日（日）～令和8年11月6日（金）必着※

※必要書類等の受付は、郵送（書留速達）のみとし、出願受付期間後に到着した場合は受理しないので郵便事情を考慮し、余裕をもって早めに送付してください。

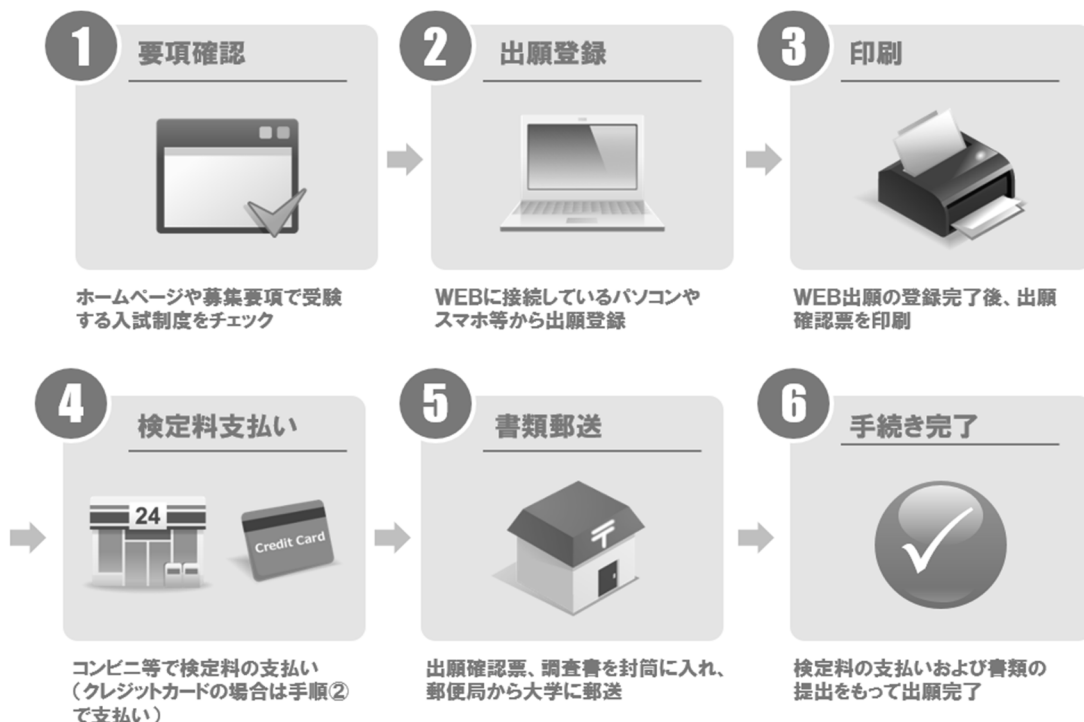
ただし、11月4日（水）までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。

※不備がある場合等、出願書類の件で連絡する場合があります。出願期間中は必ず連絡をとれるようにしておいてください（インターネット出願で登録した電話番号又はメールアドレスに連絡します）。

なお、メールアドレスは、受験票がインターネット出願登録ページのマイページで印刷可能になった際のお知らせ等にも使用しますので、登録画面で必ずメール受信確認を行ってください。

電話の場合は 072-978-×××× からかかってきます（最後4桁は変わります）。
メールの場合は nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp から届きます。

【出願の流れ】



(2) - A インターネットによる出願登録

本学が出願登録業務を委託した外部ウェブサイトでの手続になります。**詳細は、88頁以降に掲載していますので、必ず確認の上、登録を行ってください。**

【インターネット出願登録受付期間】

令和8年10月26日(月)9時00分～令和8年11月6日(金)12時00分(日本時間)

(2) - B 入学検定料等の支払い

【入学検定料等の支払い受付期間】

令和8年10月26日(月)9時00分～令和8年11月6日(金)12時00分(日本時間)

1 入学検定料 17,000円

入学検定料支払い時に、別途インターネット出願システム利用料(451円)がかかります。

2 支払方法

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy(ペイジー)の利用が可能です。それぞれの詳しい支払方法や手続・注意事項等は「インターネット出願ページ」で出願情報登録後の「お支払方法選択」でご確認ください。

支払方法	備考
クレジットカード (VISA、MasterCard)	入学検定料等の支払いをインターネット出願と同時に完了することができます。
コンビニエンスストア (ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、セブンイレブン、デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア、セイコーマート)	各コンビニエンスストアにより支払方法が異なりますので、詳細はインターネット出願登録ページ内の「コンビニエンスストアでお支払い」をご確認ください。 支払い後、決済データの反映に数時間かかります。
Pay-easy(ペイジー)を利用可能なATM	取扱金融機関のPay-easyロゴが付いているATMで支払うことができます。

3 注意事項

出願後、一旦受理した入学検定料は80頁8の場合を除き返還できません。

東日本大震災(平成23年3月11日)、熊本地震(平成28年4月14日)及び能登半島地震(令和6年1月1日)により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。詳細は次のウェブページを参照してください。

https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/kenteiryoku_menjyo.html

(2) - C 出願に必要な書類等の郵送での提出(持参不可)

インターネット出願において、出願登録及び入学検定料等の支払いを行っただけでは、出願手続完了にはなりません。郵送受付期間に必要な書類等を書留速達により郵送(必着)する必要があります。**郵送受付期間を過ぎたものは受理しないので、郵便事情を十分考慮し、余裕をもって早めに送付してください。**

【出願書類の郵送受付期間】

令和8年11月1日(日)～令和8年11月6日(金)(必着)

※郵送受付期間後に到着した場合でも、11月4日(水)までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します(郵便事情を考慮して、早めに送付してください)。

(3) 出願書類等

	書 類 等	提出該当者	摘 要
インターネット出願登録 内容の印刷物	① 出 願 確 認 票	全 員	インターネット出願登録ページの出願登録完了画面からA4用紙に印刷してください。必ず片面印刷（カラー推奨）にしてください。
	② 写 真 票		
	③ 書 類 確 認 票		必要な書類を確認し、揃っていればチェック欄にレ印を入れ、氏名を記入してください。
	④ 送 付 ラ ベ ル		出願登録完了画面からA4用紙に片面印刷（カラー推奨）の上、必要書類郵送用封筒(市販の角形2号封筒)の表面に貼り付けてください。
その他必要となる書類（⑥から⑩は本学ウェブページから所定の様式を印刷してください）	⑤ 調 査 書	全 員	出身学校長が作成し、厳封したもの
	⑥ 推 薦 書		本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの
	⑦ 志 望 理 由 書		本学所定の様式をA4用紙に印刷し、志願者本人が黒のボールペンで自筆により800字程度で作成してください。 なお、教員養成課程用と教育協働学科用、地域教員希望枠用の3種類の様式があるため、注意してください。※様式は本学ウェブページに掲載しています。
	⑧ 競技成績に関する 証 明 書	保健体育コース 志望者のみ	本学所定の様式により出身学校長が作成したもの 高等学校在学中に出場した公式な大会のうち、最も優れていると考える成績から順に記載してください。 ただし、記載したすべての競技実績について、次の①、②に示す資料（コピー可）を必ず添付してください。 ①大会名、年度、チーム若しくは個人の順位・表彰内容が明らかとなる資料（表彰状、専門雑誌等） ②トーナメント方式の団体競技においては、当該大会において 所属チームのすべての試合 の公式記録あるいは公的記録（各競技の主催者から報道機関に配布された資料のコピーを含む。）これらの記録が入手不可能な場合には、出場を客観的に証明できる専門雑誌等の記載資料
	⑨ 英語能力測定試験 に関する証明書	英語教育コース 志望者のみ	実用英語技能検定、TOEFL iBT® などの英語能力測定試験で所定の等級又はスコア取得により、所定の点数加算を希望する場合は、32頁を参照のうえ、該当する試験の成績証明書など（コピー可）を提出してください。 提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。 【注】出願受付期間後に提出することはできません。 成績証明書などがコピーの場合は、TOEIC® (L&R) のデジタル公式認定証を除き、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。 （原本証明の記載例は32頁を参照）
	⑩ 伴 奏 用 楽 譜	音楽教育コース 志望者のみ	音楽実技実施に必要な伴奏用楽譜は、B4判とし志願者氏名を明記してください（1ページの大きさはB5判）。37頁を参照してください。

(参考) 専攻・コース別の必要書類一覧(課さない推薦(地域教員希望枠))

30頁の出願書類等について、コース毎に必要な書類が異なります。

下記の一覧表を確認し、出願時に不足等のないようにご注意ください。

書類名	国語教育	英語教育	社会科教育	数学教育	理科教育	技術教育	家政教育	保健体育	音楽教育	美術・書道教育
出願確認票	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
写真票	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
書類確認票	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
送付ラベル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
調査書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
推薦書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
志望理由書(教員養成課程用)										
志望理由書(教育協働学科用)										
志望理由書(地域教員希望枠用)	○※1	○※1	○※1	○※1	○※1	○※1	○※1	○※1	○※1	○※1
競技成績に関する証明書								○		
英語能力測定試験に関する証明書		●※2								
伴奏用楽譜									●※3	

○が全員必要な書類、●が該当者のみ必要な書類になります。

※1 教員養成課程用(学校教育教員養成課程及び養護教諭養成課程)と教育協働学科用、地域教員希望枠用の3種類の様式があるため、注意してください。

異なる様式で提出した場合、不備となり出願を受理することができません。

※2 英語教育コース志望者で英語能力測定試験の成績利用(加点)申請を行う場合

※3 音楽教育コースの実技(歌曲)を移調して歌う場合

(4) 英語能力測定試験の成績利用

学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース

教科教育専攻 英語教育コースでは、実用英語技能検定、TOEFL iBT®などの英語能力測定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得している場合は、面接A（教科に関する面接）の得点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。

なお、高等学校入学以降に受検した試験を対象とし、利用できる英語能力測定試験の得点加算は1つのみです。

面接Aへの 得点加算	実用英語技能 検定（英検） ＊	TOEFL iBT® 2026 年 1 月 20 日以前受検	TOEFL iBT® 2026 年 1 月 21 日以降受検	IELTS ＊ ＊	TOEIC® （L&R）	GTEC CBT タイプ/ GTEC 検定版 ＊ ＊ ＊
50 点	準 1 級以上	80 以上	4.0 以上	6.0 以上	730 以上	1180 以上
30 点	2 級	65 以上	3.5 以上	5.0 以上	600 以上	1060 以上

＊英検は従来型の英検に加えて、英検 S-CBT、英検 CBT、英検 S-Interview を対象とします。

＊ ＊ 「IELTS」はアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールの両方を対象とします。

＊ ＊ ＊ 「GTEC」CBT タイプ、「GTEC」検定版はオフィシャルスコアに限ります。

英語能力測定試験の提出書類（教科教育専攻 英語教育コース）

英語能力測定試験で所定の等級又はスコアを取得しているため、面接A（教科に関する面接）の得点に加算を希望する場合には、該当する試験の成績証明書など（コピー可）を1通用意して、必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。

なお、コピーの場合は、TOEIC®（L&R）のデジタル公式認定証を除き、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。出願受付期間後に提出することはできません。

英語能力測定試験	提出書類（成績証明書など）
実用英語技能検定（英検）	実用英語技能検定 合格証明書
TOEFL iBT®	TOEFL iBT® Official Score Reports 又は TOEFL iBT® Test Taker Score Report
IELTS	IELTS Test Report Form（成績証明書）
TOEIC®（L&R）	TOEIC® Listening & Reading Official Score Certificate（公式認定証）又はデジタル公式認定証
GTEC CBT タイプ/GTEC 検定版	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

（注1）複数取得している場合には、最も得点加算が高いものを提出してください。

（注2）提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。

※原本証明について

原本証明とは、原本の写し（コピー）が原本と相違ないことを学校長に証明していただくものです。成績証明書などをコピーで提出する際は、記載例を参考にしてください。

（記載例）原本の写し（コピー）の余白部分に記載

この写しは原本と相違ないことを証明します。 令和〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇〇〇学校長 〇〇〇〇	公印
--	--

(5) 障がい等のある者の事前相談

障がい又は病気その他の理由で、受験上の配慮を希望する者は、令和8年10月16日（金）までに入試課へ相談してください。詳細は、次のウェブページを参照してください。

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/jizensoudan.html>

<問い合わせ先> 入試課（受付時間：平日9：00～17：00）

【TEL：072-978-3324 メールアドレス：nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp】

また、本学は障がい学生修学支援ルームを設置しています。本ルームは入学後に修学上の配慮を希望する者の事前相談にも応じています。

<問い合わせ先> 障がい学生修学支援ルーム（受付時間：平日9：00～17：00）

【TEL：072-978-3479 メールアドレス：sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp】

(6) 出願に当たっての留意事項

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す（高大接続枠を含む。）場合、課さない（地域教員希望枠を含む。）場合を含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部に限ります。

なお、不合格となった場合に備え、本学又は他の国公立大学の「前期・後期」等へ出願することができます。

注1 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。また、出願事項が事実と相違していることが判明した場合は、合格又は入学許可を取り消すことがあります。

注2 受理した出願関係書類は、いかなる理由があっても一切返還できません。

注3 出願書類の受領についての電話等による照会には、一切応じません。日本郵便ウェブサイト（<https://www.post.japanpost.jp/index.html>）の郵便追跡サービスでご確認ください。

4 入学者選抜方法等

- (1) 実施日 1日目 令和8年11月21日(土) 教科に関する検査
2日目 令和8年11月22日(日) 特別支援教育への関心を測る検査

(2) 検査科目・時間等

課程・専攻・コース		実施日	検 査 時 間	
学校 教育 教員 養成 課程	教科 教育 専攻	国語教育コース	1日目	面 接 A※ ¹ 10:00～
		英語教育コース	1日目	面 接 A※ ¹ 10:00～
		社会科教育コース	1日目	面 接 A※ ¹ 10:00～
		数学教育コース	1日目	数 学 10:00～11:30
		理科教育コース	1日目	面 接 A※ ¹ 10:00～
		技術教育コース	1日目	数学・理科 10:00～11:30
		家政教育コース	1日目	面 接 A※ ¹ 10:00～
		保健体育コース	1日目	実 技 A※ ¹ 10:00～13:00 面 接 A※ ¹ 14:30～
		音楽教育コース	1日目	実 技 10:00～
		美術・書道教育コース【美術分野】	1日目	実 技 A※ ¹ 10:00～13:00 面 接 A※ ¹ 14:00～
		国語教育コース 英語教育コース 社会科教育コース 数学教育コース 理科教育コース 技術教育コース 家政教育コース 保健体育コース 音楽教育コース 美術・書道教育コース【美術分野】	2日目	面 接 B※ ² 10:00～

※1 「面接A」は、「教科に関する面接（口頭試問含む。）」を行います。

※2 「面接B」は、「特別支援教育への関心を測る面接」を行います。

※3 志願者数によっては、教科に関する検査の日時を変更することがあります。
その場合は、受験票の印刷が可能になったことを本学ウェブページ等でお知らせする際に、併せて印刷が可能となる「受験者注意事項」により通知します。

(3) 入学者選抜方法

課程・専攻・コース			選 抜 方 法
学校 教育 教員 養成 課程	教科 教育 専攻	国語教育コース	大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書並びに志望理由書）及び面接を総合して行う。
		英語教育コース	大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書並びに志望理由書及び英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその成績の証明書）及び面接を総合して行う。
		社会科教育コース	大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書並びに志望理由書）及び面接を総合して行う。
		数学教育コース	大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書並びに志望理由書）、教科・科目に係る個別テスト及び面接を総合して行う。
		理科教育コース	大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書並びに志望理由書）及び面接を総合して行う。
		技術教育コース	大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書並びに志望理由書）、教科・科目に係る個別テスト及び面接を総合して行う。
		家政教育コース	大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書並びに志望理由書）及び面接を総合して行う。
		保健体育コース	大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、競技成績に関する証明書並びに志望理由書）、実技検査及び面接を総合して行う。
		音楽教育コース	大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書並びに志望理由書）、実技検査及び面接を総合して行う。
		美術・書道教育コース 【美術分野】	大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書並びに志望理由書）、実技検査及び面接を総合して行う。

※総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。

(4) 令和9年度大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜（地域教員希望枠）の配点等について

共通テストを課さない学校推薦型選抜（地域教員希望枠）で、本学が実施する教科・科目に係る個別テスト等は次のとおりです。

なお、教科・科目に係る個別テスト等を1科目でも受験しなかった場合は、選抜の対象としません。

次の表では、「個別テスト」は「教科・科目に係る個別テスト」を指しています。

課程・専攻・コース			検査 科目	教科・科目に係る個別テスト等の配点等							
				数学	理科 (物理)	実技	面接A ※ 1	面接B ※ 2	証明書	合計	加点
学校教育 教員養成課程	教科 教育専攻	国語教育コース	面 接				300	200		500	
		英語教育コース	面 接				300			500	最大 50 ※ 3
								200			
		社会科教育コース	面 接				300	200		500	
		数学教育コース	個別テスト 面 接	(注 1) 300				200		500	
		理科教育コース	面 接				300	200		500	
		技術教育コース	個別テスト 面 接	(注 2) 300				200		500	
		家政教育コース	面 接				300	200		500	
		保健体育コース	実 技 面 接			100	100	200	100 ※ 4	500	
		音楽教育コース	実 技 面 接			300		200		500	
美術・書道教育コース 【美術分野】	実 技 面 接			200	100	200		500			

(注1) 出題範囲は次のとおりです。

数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C

・「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」は全範囲から出題します。

・「数学Ⅲ」は「極限」、「微分法」、「数学B」は「数列」、数学Cは「ベクトル」から出題します。

(注2) 出題範囲は次のとおりです。

数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C・物理基礎・物理

・「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」、「物理基礎」は全範囲から出題します。

・「数学Ⅲ」は「極限」、「微分法」、「数学C」は「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」、「物理」は「様々な運動」、「電気と磁気」から出題します。

※1「面接A」は、「教科に関する面接（口頭試問含む。）」を行います。

※2「面接B」は、「特別支援教育への関心を測る面接」を行います。

※3は英語能力測定試験に関する証明書（最大50点）

※4は競技成績に関する証明書

(5) - 1 実技検査の実施内容及び留意事項

課程・専攻・コース	実 施 内 容 及 び 留 意 事 項
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	保健体育実技検査：保健体育実技技能に関するテスト A. 体づくり運動は全員が行う。 B～Dの中から2つを出願時に選択すること。 出願後の変更は認めない。 A. 体づくり運動：ラジオ体操第一、第二及びみんなの体操の中から、当日指定された体操を行う。 B. 陸上運動：ハードル走（ただし、(1)で競技成績に関する証明書を提出した者は、選択できない。） C. 器械運動：マット運動（ただし、(12)で競技成績に関する証明書を提出した者は、選択できない。） D. 球 技：バスケットボール（ただし、(2)～(11)で競技成績に関する証明書を提出した者は、選択できない。） (1) 陸上競技 (7) 卓 球 (13) ダ ンス (2) バスケットボール (8) 硬式テニス (14) 柔 道 (3) サッカー (9) ソフトテニス (15) 剣 道 (4) ラグビーフットボール (10) 硬式野球 (16) 水泳競技（競泳） (5) バレーボール (11) バドミントン (6) ハンドボール (12) 体操競技
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 音楽教育コース	次のⅠ～Ⅲの検査を実施する。 Ⅰ. 歌 曲 次の2曲から任意の1曲を歌う。 1) Selve amiche A. Caldara (g, a, h-moll) 2) Sogno F. P. Tosti (As, B-Dur) (注) 1. 歌詞は、原語により暗譜で歌うこと。なお、曲の途中で演奏を中止させる場合がある。 2. <u>上記以外の調で歌う場合は、移調した伴奏用楽譜（正確、明瞭に記譜し、歌唱旋律及び歌詞を記入したもの）に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。</u> 3. 伴奏者は本学で配置する。 Ⅱ. ピアノ 次の2曲を演奏する。 1) L. v. ベートーヴェン：ソナタ第11番 変ロ長調 0p.22 第1楽章 2) F. ショパン : 練習曲0p.10-4 (注) 演奏は暗譜で行い、原則として繰り返しは省略すること。なお、曲の途中で演奏を中止させる場合がある。 Ⅲ. 楽 典 (解答時間 60分) 高等学校の教科書 音楽Ⅰ 程度の内容
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース 【美術分野】	次の検査を実施する。 鉛筆による静物デッサン (注) 1 鉛筆、消しゴム（ねり消しゴムを含む。）、羽根ボウキは使用可（各自持参すること）。それ以外の道具は使用不可とする。 2 カルトン、画用紙、クリップは本学で準備する。 3 鉛筆の硬度は問わない。

(5) - 2 実技検査の採点・評価基準

課程・専攻・コース	実 施 内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	保健体育実技検査 保健体育実技技能に関するテスト	小学校の体育、中学校・高等学校の保健体育の実技を指導するために必要な運動能力を総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 音楽教育コース	I. 歌 曲 II. ピアノ III. 楽 典	教員養成（音楽）に必要な基礎的技術、表現力等について検査する。 併せて、実技に必要な基礎的知識についても審査し、総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース 【美術分野】	鉛筆による静物デッサン	図工・美術教育に必要とされる基礎的な造形能力（構成・対象把握）や表現力などを総合的に評価する。

(6) <面接A>面接（口頭試問を含む。）の内容及び採点・評価基準

課程・専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 国語教育コース	将来、国語科分野の小学校、中学校、高等学校の教員となるのにふさわしい資質をみるために、教育に関する問題意識・態度について尋ね、くわえて、日本語に関する言語知識及び言語文化について小文を提示し、その場で課題を課し、口頭で回答を求める。	面接をとおして、日本語に関する言語知識及び言語文化についての理解度や認識の度合いを確かめ、応答における論旨の明確さ、洞察の深さ、論展開の的確さ、言語表現力を判定する。ことばの教育への問題意識・態度と合わせ、国語科教育を担う教師としてふさわしい資質の持ち主であるか、総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース	将来、小学校教員、中学校・高等学校の英語教員となるのにふさわしい資質と英語教育に関する問題意識・関心度及び英語運用能力をみる内容。	英語教育に関する問題意識・関心度及び英語運用能力を総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 社会科教育コース	将来、小学校、中学校、高等学校教員となるのにふさわしい資質と人文・社会的事象に関する関心、知識、理解力をみる内容を問う。	小学校、中学校、高等学校教員への意欲、人文・社会的事象に関する関心、知識、理解力を総合的に捉え、採点・評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 理科教育コース	理科に関する深い関心と、将来、小学校教員や中学校・高等学校の教員となるのにふさわしい資質をみる内容を問う。	面接をとおして、自然科学に関する知識や理解度と小学校教員、中学校・高等学校の理科教員への資質を総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 家政教育コース	家庭科に関する深い関心と、将来、小学校、中学校、高等学校の教員にふさわしい資質をみる内容を問う。	家庭科に関する知識や理解度と、家庭科教員としての資質を総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	将来、小学校の教員、中学校・高等学校の保健体育教員となるのにふさわしい資質と、保健体育科目に関する関心・知識・理解力をみる内容を問う。	小学校の教員、中学校・高等学校の保健体育教員への意欲、保健体育科目に関する関心・知識・理解力を総合的に捉え採点・評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース 【美術分野】	将来、小学校、中学校、高等学校の教員となるのにふさわしい資質と美術に関する知識・関心・理解度をみる内容を問う。	小学校、中学校、高等学校の教員への意欲・適性、美術に関する知識・関心・理解、面接時の対応や話の論理性などを総合的に評価する。

(7) <面接B>特別支援教育の関心を測る面接の内容及び採点・評価基準

課程・専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 国語教育コース 英語教育コース 社会科教育コース 数学教育コース 理科教育コース 技術教育コース 家政教育コース 保健体育コース 音楽教育コース 美術・書道教育コース【美術分野】	特別支援教育への理解 と関心、また将来、特別支 援教育に携わる教員とな るのにふさわしい資質を みる内容を問う。	障がいのある子どもに関わるこ とへのやりがいと使命感、特別支 援教育に携わることへの意欲な ど、特別支援教育について継続し て発展的に学んでいく姿勢を総合 的に採点・評価する。